5-1　未来塾対応ＷＧ

1. 未来塾対応 WG の概要

(1) WG の活動目的

未来塾は、国交省と建コン協がフリーな意見交換を行う場としてスタートしたが、近年は、各地方ブロック意見交換会における「要望と提案」の内容の調整や様々な制度設計に関する課題解決に向けた協議の場となっている。

さらに、国交省において建設生産・管理システムの上流段階となる業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する議論の場となる「業務マネジメント部会」への対応を行っている。この部会の審議事項は以下に示す。

a)　入札・契約方式について

b)　品質の確保・向上について

c)　その他、業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する課題

(2) WG の構成（委員）

WG長は常任委員長、副WG長は常任副委員長、その他委員は各主要専門委員会等の委員長等10名で、総勢10名で構成されている。

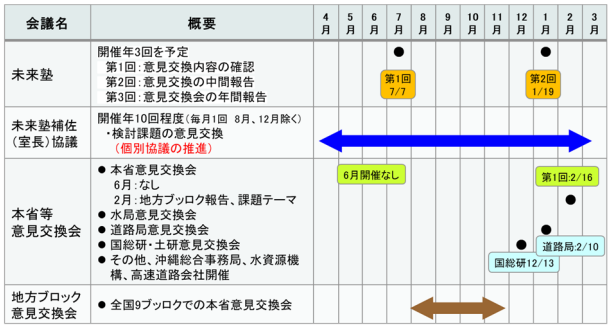
2. 主な活動の記録

(1) WG の開催実績

未来塾は7月7日、1月19日の2回開催した。

(2) 主な検討課題

今期は、協会の重要課題である8テーマを中心に様々な制度改善に向けて、特に技術調査課との個別協議の推進を実施した。以下に重要課題8テーマを示す。



1. 業務量の平準化
2. ウィークリースタンスの推進
3. 受発注者協働による生産性向上（スケジュール管理表、条件明示チェックシートの推進）
4. BIM/CIM の普及・推進
5. 詳細設計での総合的品質確保（施工計画における成果の明確化等）
6. プロポーザルの方式の拡大
7. 事業促進 PPP 方式の普及・推進
8. 入契制度改革（標準契約約款の見直し、損害賠償請求額の上限設定）

また、前期より、建コン協としてのDXへの取り組み検討に着手し、技術調査課と基本的な取り組み方針や成果に関して協議を実施した。以下にDXの取り組み検討4テーマを示す。

テーマ1:受発注者協働による働き方改革に資するDX推進

テーマ2:i-ConstructionおよびBIM/CIMの推進（ライフサイクルマネジメントの生産性向上）

テーマ3:街・地域づくりのDX推進（エリアマネジメントに資するDX）

テーマ4:建設コンサルタント企業のDX推進

3. 次年度の活動について

制度設計における重要課題および DX の取り組み検討（テーマ 1～3）に関して協議を継続実施するとともに、「DX 推進の環境整備」と「成長と分配の好循環の実現」に向けた以下の検討課題に関する協議を推進していく予定である。

(1)BIM/CIM の必要経費について

a)BIM/CIM 標準歩掛の策定

b)BIM/CIM 経費の計上

(2)DX､ﾃﾚﾜｰｸ等に対する一般管理費について

a)一般管理費等係数の見直し

b)低入札価格調査基準価格の見直し

（未来塾対応ＷＧＷＧ長　堤　安希佳）